

青年部・女性部

継続的な事業への取り組み

〜手作りの事業で売上も向上〜

徳島県勝浦町商工会女性部

人口六六〇〇人余りの勝浦町は、県庁所在地の徳島市より南西へ車で四〇分ほどの山合いの町で、町の中心を勝浦川が流れ、夏は鮎漁、秋はみかん狩り、また、春には三万休余りの雛人形が飾られる「ビッグひなまつり」発祥の町でもあります。

当商工会女性部は昭和五十七年に設立され、ホーム慰問、ダンスパーティー主催、講演会、視察研修等と活発で元気のある女性部としてスタートし、今もその精神は受け継がれています。年数を重ねるごとに部員間の連帯意識も深まり、活動範囲も広がってきたのですが、事業活動が単発的という課題を残していました。

商品化できないかと考えました。

布の仕入れ、牛乳パックを切り開く、芯を作る、イスの外側を縫う、底を綴じるなど、数多くの工程は各部員が得意分野を担当し、和気あいあいと楽しいものです。町内のバザーで販売したところ、好評で製作が間に合わなくなり、外側のカバーと中に入れるクッションは縫製業を営む部員の事業所に外注として出すことにしました。すると、さらに立派な商品らしいものとなったので、「牛乳パック利用のイスの作り方」という説明書を作り、カバーとセットで売り出すことにしたのです。

このイスは意外と反響が大きくて、地方紙にも数回掲載され、各種団体からの製作指導の依頼、注文など、思っていたより忙しい部会となっています。また、養護、障害者施設の訓練も兼ねた収益事業としても検討してみたのですが、製作自体には問



牛乳パックでのアイス作り

題ないものの、単発的販路に問題があるということで、現在保留となっています。

今後の展開として、イスのデザイン、サイズを多くし、ネット販売等も視野に入れて販路拡大を図り、楽しみながら収益性のある事業として継続していきたいと思っています。

年末になると活躍するのが「サンタ部会」です。平成九年に「町内の活性化」をスローガンに、全長二メートルのサンタクロースを製作して商工会館に取り付けたのが話題になり、それ以来ずっと地方紙にも載っていた初代サンタは、昨年、望まれて勝浦町「子育て支援センター」に寄贈し、ライトアップされ、子供たちに夢を与えています。次に誕生し



笑いびな



防犯サンタ

たサンタは、「防犯サンタ」と命名され、防犯の旗を掲げ、地域の安全と年末商戦に一役かっています。

青年部の協力で電飾されたサンタがマスコミにのると、町内外からも家族連れをはじめたくさんの方が見に来てくれました。少しでも町の活性化になったかなと思っています。サンタは、お正月には「戎さん」に変身し、道行く人に福と笑いをまいています。この事業は待ち望んでくれている人がいる限り続けていきたくと思っています。

勝浦町の春はお雛様で始まります。一〇〇段の雛壇に三万体系余りの雛人形を飾って供養する「ビッグひなまつり」。開催中は県内外から大勢の人が訪れ、女性部の「バザー部会」が大活躍です。勝浦町の特産品、部員の手作り商品、寿司、菓子とバラエティーに富んだ品物が売場一杯に並びます。「ありがとうございます」という張りのある声と共にどんどん売れていきます。

この店は当番制で、部員同士の話し合いで決めます。女性部の収益も上げ、店の売上増加にもつながればと、女性部員の店の売上手数料は一般会員より少なくしています。また、それが今後の女性部活動の参加者増にもつながるのではないかと考えられています。

以前から「ひなまつり」には独自の土産品がないという声を耳にしています。そこで思いついたのが、手作り雛でした。一年がかりの作業です。裁断、縫製、顔、髪の毛の製作、仕上げとそれぞれが分担作業。頑張つて頑張つて一〇五体のオリジナル雛人形が誕生しました。一体一体がそれぞれの表情で笑いかけている温かい雰囲気好評で、すべて完売となり、やった！という充実感で一杯でした。

来年の目標は五〇体です。手作りは量産が無理なので、もう少し簡単に作れて、コストも低く、それでいて優しいお雛様を考案中です。

このように当会女性部には、事業に合わせて部会が誕生しています。それぞれの部会長を中心に、部員の話し合いで活動が進んでいきます。これによって、部員一人ひとりに責任感が生まれ、自主性に富んだすばらしい方向づけができてきました。

こうした形をとりながら、女性部活動が楽しく有意義で、売上向上にもつながっていけばと願っています。そして、長年の希望であった事業継続が実現しつつあります。

これからも前向きに、元気で明るい女性部として、いろいろなことにチャレンジしていきたいと思っています。